

温泉の成分並びに禁忌症、入浴上の注意及び適応症

成 分				禁忌症、入浴上の注意及び適応症			
1. 源泉名 つなぎ温泉 (大観の湯) 2. 泉 質 単純硫黄泉 (低張性アルカリ性高温泉) 3. 泉 温 52.4℃ (調査時における気温 18℃) 天候: 曇り 4. pH値 9.0 5. ラドン(Rn)含有量 0.52×10^{10} キュリー・ラドン/kg (0.14マツヘ/kg) 6. 温泉1kg中の成分、分量及び組成 (ミリバル = [ミリグラム/化学相当量])				1 禁忌症 (1) 一般的禁忌症 急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)。 (2) 泉質による禁忌症 皮膚、粘膜の過敏な人特に光線過敏症の人 2 入浴の方法および注意 (1) 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。 (2) 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。 (3) 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり (湯ざわり又は浴場反応) が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。 (4) 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。 ア. 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分間程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。 イ. 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。 ウ. 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない (湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。 エ. 入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。 オ. 次の疾患については、原則として高温浴 (42℃以上) を禁忌する。 (ア) 高度の動脈硬化症 (イ) 高血圧症 (ウ) 心臓病 カ. 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をする。 キ. 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。 ク. 飲酒しての入浴は特に注意する。			
(1) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(2) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
水素イオン H ⁺	0.0	0.0	0.00	フッ素イオン F ⁻	5.9	0.31	3.68
ナトリウムイオン Na ⁺	174.2	7.58	89.81	塩素イオン Cl ⁻	90.8	2.56	30.40
カリウムイオン K ⁺	4.2	0.11	1.30	硫化水素イオン HS ⁻	6.3	0.19	2.26
マグネシウムイオン Mg ²⁺	0.1	0.00	0.00	硫酸イオン SO ₄ ²⁻	203.2	4.23	50.24
カルシウムイオン Ca ²⁺	14.5	0.72	8.53	炭酸水素イオン HCO ₃ ⁻	22.0	0.36	4.28
鉄イオン (Fe ²⁺ , Fe ³⁺)	0.2	0.00	0.00	炭酸イオン CO ₃ ²⁻	22.2	0.74	8.79
マンガン(II)イオン Mn ²⁺	0.0	0.00	0.00	チオ硫酸イオン S ₂ O ₃ ²⁻	1.9	0.03	0.36
アルミニウムイオン Al ³⁺	0.0	0.00	0.00				
リチウムイオン Li ⁺	0.2	0.03	0.36				
陽イオン 計	193.4	8.44	100.00	陰イオン 計	352.3	8.42	100.01
(3) 遊離成分							
非遊離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	溶解ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)		
メタケイ酸 H ₂ SiO ₃	76.8	0.98	遊離二酸化炭素 CO ₂	0.0	0.00		
メタホウ酸 HBO ₂	2.0	0.04	遊離硫化水素 H ₂ S	0.0	0.00		
溶解物質 (ガス性のものを除く) 0.6245g/kg				成分総計 0.6245g/kg			
(4) その他の微量成分							
カドミウム	0.01 mg/kg未満	総ヒ素	0.01 mg/kg未満	銅イオン	0.01 mg/kg未満		
鉛イオン	0.01 mg/kg未満	総水銀	0.0005 mg/kg未満				
平成19年10月22日 登録分析機関名 社団法人 岩手県薬剤師会 登録番号 岩手県第1号 所在地 盛岡市馬場町3番12号 代表者名 会長 村井 晃							
				3 適応症 (1) 一般適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進 (2) 泉質による適応症 慢性皮膚病、慢性婦人病、きりきず、糖尿病 4 禁忌症、適応症決定年月日 平成19年10月22日			
				岩 手 県			